

教育研究業績書

令和 5 年 5 月 1 日
氏名 長 澤 雅 春

研究分野	研究内容のキーワード	
日本語教育／日本近現代文学 ／韓国語教育／コロニアル研究	日本語／国語／植民地／朝鮮／朝鮮総督府／教科書／日本浪漫派	
教育上の能力に関する事項		
事 項	年 月 日	概 要
1. 教育方法の実践例		
1 蔚山科学大学との間で交換留学制度、短期留学制度の締結をコーディネート	平成 22 年 3 月	蔚山科学大学との間で双方の学生を交換留学生として受け入れることを締結し、相互の派遣と受け入れを毎年行っている。
2 蔚山科学大学との間でダブルディグリー制度の締結をコーディネート	平成 24 年 12 月 18 日	蔚山科学大学との間で、2 年次に 1 年間留学し、所定の単位数を取得することで、両大学を卒業することができる。翌年度より派遣と受け入れを相互に行っている。
3 翰林聖心大学との間で、交換留学・ダブルディグリー協定の締結をコーディネート	平成 27 年 4 月 21 日	翰林聖心大学との間で、交換留学・ダブルディグリー協定の締結を行い、翌年から 4 名程度の相互派遣と受け入れを行った。
4 馬山大学との間で、ダブルディグリー協定の締結をコーディネート	令和元年 4 月 24 日	馬山大学との間で、ダブルディグリー協定の締結を行い、この年の語学研修に 10 名を派遣した。
5 東義科学大学との間で、学術協定の締結をコーディネート	令和元年 6 月	東義科学大学との間で学術協定の締結を行い、この年の夏季韓国語研修で 23 名を派遣する。
2. 作成した教科書、教材		
1 『MY JAPANESE』(共著)	平成 10 年 3 月	イルボノバンク(ソウル)
2 「韓国語初学者への韓国語会話教材の試み—用言「第三語基」を中心に—」	平成 11 年 3 月	『佐賀女子短期大学研究紀要』
3 『生活日本語』(共著)	平成 14 年 3 月	J&C 出版(ソウル)
4 『続生活日本語』(共著)	平成 14 年 3 月	J&C 出版(ソウル)
5 『話してみようマレバヨ 韓国語初級』	令和 2 年 3 月	現代韓国文化研究センター編著、白帝社
3. 教育上の能力に関する大学等の評価		

4. 実務の経験を有する者についての特記事項		
5. その他		
1 留学生の受入れインターンシップ コーディネイト	平成 14 年～ 現在に至る	留学生の 4 カ月インターンシップ受入れ企業 を開拓し、派遣する。毎年延べ 6 名程度 アイスクエアビル 5F
2 第 7 回佐賀県韓国語スピーチコン テスト審査員	平成 20 年 2 月 24 日	アイスクエアビル 5F
3 第 9 回佐賀県韓国語スピーチコン テスト審査員	平成 23 年 3 月 6 日	アイスクエアビル 5F
4 名護屋城博物館主催第 6 回韓国語 スピーチコンテスト審査員	平成 23 年 10 月 6 日	佐賀県立名護屋城博物館
5 名護屋城博物館主催第 7 回韓国語 スピーチコンテスト審査員	平成 24 年 10 月	佐賀県立名護屋城博物館
6 名護屋城博物館主催第 8 回韓国語 スピーチコンテスト審査員	平成 25 年 10 月 26 日	佐賀県立名護屋城博物館
7 名護屋城博物館主催第 9 回韓国語 スピーチコンテスト審査員	平成 26 年 10 月 25 日	佐賀県立名護屋城博物館
8 名護屋城博物館主催第 10 回韓国 語スピーチコンテスト審査員	平成 27 年 10 月 22 日	佐賀県立名護屋城博物館
9 名護屋城博物館主催第 11 回韓国 語スピーチコンテスト審査員	平成 28 年 10 月 21 日	佐賀県立名護屋城博物館
10 名護屋城博物館主催第 12 回韓国 語スピーチコンテスト審査員	平成 29 年 10 月 21 日	佐賀県立名護屋城博物館
11 名護屋城博物館主催第 13 回韓国 語スピーチコンテスト審査員	平成 30 年 10 月 20 日	佐賀県立名護屋城博物館
12 名護屋城博物館主催第 14 回韓国 語スピーチコンテスト審査員	令和元年 10 月 26 日	佐賀県立名護屋城博物館
13 名護屋城博物館主催第 15 回韓国 語スピーチコンテスト審査員	令和 2 年 10 月 26 日	佐賀県立名護屋城博物館
14 名護屋城博物館主催第 16 回韓国 語スピーチコンテスト審査員	令和 3 年 10 月 23 日	佐賀県立名護屋城博物館
15 東義大学東アジア研究所と本学 現代韓国文化研究センターとの学 術協定締結	令和 3 年 6 月	佐賀県立名護屋城博物館 学術研究、共同研究及び研究者交流
職務上の実績に関する事項		
事 項	年 月 日	概 要
1. 資格、免許		
経済学士	昭和 56 年 3 月	神奈川大学
社会科教員普通免許中学 1 級	昭和 56 年 3 月	第 4479 号 (神奈川県教育委員会)
社会科教員普通免許高校 2 級	昭和 56 年 3 月	第 3525 号 (神奈川県教育委員会)
文学士	昭和 58 年 3 月	中央大学
国語科教員普通免許中学 1 級	昭和 58 年 3 月	第 12949 号 (東京都教育委員会)
国語科教員普通免許高校 2 級	昭和 58 年 3 月	第 13659 号 (東京都教育委員会)
文学修士	昭和 62 年 3 月	「初期保田與重郎論」中央大学
国語科教員免許高校 1 級	昭和 62 年 3 月	第 995 号 (東京都教育委員会)

入管手続き申請取次者	平成 14 年 1 月	福岡入国管理局(3 年ごと更新 至現在)		
2. 特許等 なし				
3. 実務の経験を有する者についての特記事項				
4. その他				
1 日本学術振興会科学研究費委員会 専門委員	平成 20 年 12 月 1 日～平成 21 年 11 月 30 日	「日本語教育」第一段階審査 基盤(A)(B)、萌芽、若手(A)(B) 160 件審査		
2 日本学術振興会科学研究費委員会 専門委員	平成 21 年 12 月 1 日～平成 22 年 11 月 30 日	「日本語教育」第一段階審査 基盤(A)(B)(C)、萌芽、若手(A)(B) 191 件審査		
研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1 科学研究費『研究成果報告書』	単著	平成 20 年 3 月	佐賀女子短期大学	日本学術振興会科学研究費基盤研究(C)「朝鮮総督府における「国語」政策の基礎的研究—朝鮮総督府編纂発行教科書とその背景—」(平成 16 年～平成 19 年)の研究成果報告書
2 科学研究費『研究成果報告書』	共著	平成 27 年 3 月	筑波大学	吉原ゆかり(研究代表者)による挑戦的萌芽研究「帝国日本の英米文学高等教育—台北帝国大学、一、京城帝国大学、東京師範学校を中心に」のテーマにより、崔ウォール洋姫氏シドニーでのインタビュー内容。
2 『韓国映画を作った男たち』	単著	平成 25 年 10 月	青弓社	安鍾和『韓国映画側面秘史』(1962)の全訳。開化期から解放期にいたるまでの朝鮮映画の製作史。巻末には「解題」と「朝鮮映画作品データベース」を作成して掲載した。
(学術論文) 1 保田與重郎論—初期文学論におけるリアリズムについて	単著	1987 年 3 月	中央大学大学院	中央大学大学院文学修士論文
2 「初期保田與重郎論 (1) —初期文学論におけるリアリ	単著	1988 年 3 月	『中央大学論究』20 号	ディルタイやジンメルといったドイツ生の哲学思想の、保田與重郎における受容について。

ズムと生の哲学について」				
3「初期保田與重郎論(2) —〈言葉〉と〈作家的危機意識〉について」	単著	1988年3月	『中央大學國文』30号	ドイツロマン主義文学を読み解く保田與重郎の文学理論と昭和文学について。
4「初期保田與重郎論(3) —『批評』の問題」と近代解体の論理」	単著	1988年3月	『大学院研究年報』17号	近代芸術理念の発生と人間の登場という観点から近代イデオロギーの解体と再構築をいう保田與重郎の文学理論について。
5「俳句の現在(1)」	単著	1997年6月	北溟社『俳句界』9号	現代俳句の課題と問題点について、近代日本の風景論から論じた。
6「俳句の現在(2)」	単著	1997年7月	北溟社『俳句界』10号	同上
7「俳句の現在(3)」	単著	1997年8月	北溟社『俳句界』11号	同上
8「俳句の現在(4)」	単著	1997年10月	北溟社『俳句界』13号	同上
9「韓国語初学者の韓国語会話教材への試み—用言「第三語基」連用形と「ヨ」体を中心に」	単著	1999年3月	『佐賀女子短期大学研究紀要』33集	韓国語における連用形を克服することが韓国語上達の近道であるため、連用形の仕組みについて学生用に解説した。
10「三島由紀夫『太陽と鉄』—物語化する「私」と「現実」	単著	2000年11月	至文堂『国文学解釈と鑑賞』65巻11号	三島由紀夫の現実認識と私との相関関係について考察した。
11「日帝統治下の韓国映画試論」	単著	2000年11月	『國際言語文學』2号 國際言語文學会(韓国)	植民地下における朝鮮映画にたずさわる日本人について、韓国側の研究と一次資料との対比を試みた。
12「開化期韓国における「活動写真」の伝来と近代日本」	単著	2001年3月	『佐賀女子短期大学研究紀要』35集	朝鮮活動写真の上映と日本・欧米の煙草販売をめぐる朝鮮半島の情勢について考察した。
13「日本浪漫派と影山正治 —「大東塾グ	単著	2002年5月	至文堂『国文学解釈と鑑賞』67巻5号	大東塾代表影山正治と日本浪漫派保田與重郎の昭和維新思想について、その活動内容から考察した。

<p>ループ、の昭和維新文学運動」</p> <p>14「明治日本から帝国日本への転位—中根隆行『<朝鮮>表象の文化誌』を読む—」</p> <p>15「寺田透と戦後派文学」</p> <p>16「韓国学部の普通学校制度と『義務教育精神の廃止』について」</p> <p>17「日韓併合下における朝鮮教育の同化思想について—学務官僚弓削幸太郎と大野謙一の場合—」</p> <p>18 蒲原有明「松浦あがた」</p> <p>19「韓国国立中央図書館蔵日帝期朝鮮教育資料目録—渡辺学・阿部洋編『日本植民地教育政策史料集成(朝鮮編)』(龍溪書舎)未収録資料」</p> <p>20「併合下の朝鮮映画作品年表(1903-1945)」</p> <p>21 釜山広域市立市民図書館蔵 日帝期和書総目録(1)</p>	単著			
	単著	2002年5月	『日本近代文学』72集5号	中根隆行著『〈朝鮮〉表象の文化誌』を読解しながら、近代日本文学のありようを考察する。
	単著	2005年5月	至文堂『国文学解釈と鑑賞』70巻5号	寺田透と戦後派文学者たちとの文学論的相違について。
	単著	2006年3月	『佐賀女子短期大学研究紀要』40集	保護国期の朝鮮教育における普通学校制度とその内容・経緯について考察する。
	単著	2007年3月	『佐賀女子短期大学研究紀要』41集	日韓併合後の朝鮮総督学務府官僚による同化論を、朝鮮教育令・改正朝鮮教育令期において考察する。
	単著	2007年4月		若き蒲原有明による「松浦あがた」の作品世界についての肥前風景論
	単著	2008年6月	至文堂『国文学解釈と鑑賞』72巻4号 『佐賀女子短期大学研究紀要』第42集	韓国国立中央図書館を中心に蔵書されている朝鮮教育資料のうち、渡辺学・阿部洋編『日本植民地教育政策史料集成(朝鮮編)』(龍溪書舎)に未収録となっている資料をデータベースとした。
	単著	2010年3月	『佐賀女子短期大学研究紀要』第46集	併合下における朝鮮映画の作品80件ほどをデータベース化した。日本においてはまだ知られていない作品群を掲載した。朝鮮教育研究の資料調査から傍証として行ったものである。
	単著	2016年3月	『佐賀女子短期大学研究紀要』第50集	これまでの科研費による調査から、釜山広域市立市民図書館に所蔵されている日帝期和書の総目録化した。
	単著	2017年3月	『佐賀女子短期大	これまでの科研費による調査か

22 釜山広域市立市民図書館蔵 日帝期和書総目録(2)	単著	2018年3月	学研究紀要』第51集2号 『佐賀女子短期大学研究紀要』第52集2号	ら、釜山広域市立市民図書館に所蔵されている日帝期和書の総目録化した。 これまでの科研費による調査から、釜山広域市立市民図書館に所蔵されている日帝期和書の総目録化した。
23 釜山広域市立市民図書館蔵 日帝期和書総目録(3)	単著	2019年3月	『佐賀女子短期大学研究紀要』第53集	これまでの科研費による調査から、釜山広域市立市民図書館に所蔵されている日帝期和書の総目録化した。
24 釜山広域市立市民図書館蔵 日帝期和書総目録(4/了)		平成20年3月	『佐賀女子短期大学研究紀要』第42	韓国国立中央図書館に蔵書されている朝鮮教育資料から、日帝植民地下に刊行された書籍目録を作成。
25 「韓国国立中央図書館蔵 日帝期和書蔵書目録				
26 「朝鮮文学の〈誕生〉についての試論」	単著	令和2年3月	『佐賀女子短期大学研究紀要』第53	朝鮮近代文学の誕生過程を韓国からの資料を通じて実証的に考察した。
(シンポジウム) 1「併合下の朝鮮映画と日本—安鍾和著『韓国映画側面秘史』を読む—」	単著	平成21年12月20日	九州大学国際ホール	九州大学韓国研究センター主催国際シンポジウム「植民地期および米軍政下の朝鮮映像・画像アーカイブ—映像・画像をいかに語るか—」において、植民地下の朝鮮映画製作を担った日本人について言及した。
(翻訳) 1「『韓国映画側面秘史』—植民地下の朝鮮映画—9」	単著	平成22年1月	『YPSILON』(22号)	安鍾和著『韓国映画側面秘史』(1962年、春秋閣刊)の全訳。ここは羅雲奎の『アリラン』が製作される前の朝鮮映画作品についてのエピソード。
2「『韓国映画側面秘史』—植民地下の朝鮮映画—10」	単著	平成22年7月	『YPSILON』(23号)	人気女優申一仙をめぐる羅雲奎や李慶孫監督のエピソード
3「『韓国映画側面秘史』—植民地下の朝鮮映画—11」	単著	平成23年1月	『YPSILON』(24号)	鶏林映画協会が消滅した経緯、そして次の台頭者である羅雲奎の作品『アリラン』『風雲児』などの製作エピソード
4「『韓国映画側面秘史』—植民	単著	平成24年2月	『YPSILON』(26号)	羅雲奎周辺をめぐる俳優たちのエピソード

地下の朝鮮映画—12」				
5『韓国映画側面秘史』—植民地下の朝鮮映画—13」	単著	平成 25 年 2 月	『YPSILON』(28号)	独立プロダクションを持った羅雲奎の黄金時代と日本帰りの新人監督李圭煥の作品製作について
6『韓国映画側面秘史』—植民地下の朝鮮映画史—14	単著	平成 25 年 10 月	『YPSILON』(29号)	羅雲奎の死にいたるまでのエピソードと同時期の朝鮮映画作品についての製作秘話
(講演) 1「2010年、日韓併合 100 年目の年を迎えて—歴史解釈は自然主義(リアリズム)かロマン主義か—」	単	平成 22 年 2 月 14 日	佐賀女子短期大学生涯学習センター主催 閉講式講演	石川啄木の日韓併合時に作歌された短歌についての解釈が、かなり傲慢に解釈されてきたのはなぜか、という視点から、併合時の新聞各社の記事を用いて仮説を立ててみた。
2「韓日関係の将来と展望—儒教的世界からの視点—」	単	平成 26 年 9 月 22 日	慶南大学校師範大学日語日文学会	日韓関係が悪化する中、日韓の将来をどのように考えるか、韓国特有の儒教思想から考察した講演
3「日帝下の朝鮮映画」	単	平成 17 年 7 月 4 日	「世界史懇話会」	佐賀県内の世界史を担当する教員が組織された「世界史懇話会」において、近代日本の文化装置としての活動写真及び映画を用いての朝鮮における啓蒙の仕組みについて研究成果を講演した。
4「韓国国立中央図書館(旧朝鮮総督府図書館蔵書)での利用について—科研費による資料調査より—」	単	平成 27 年 10 月 15 日	平成 27 年度 第 1 回福岡県・佐賀県大学図書館協議会南部地区研究会	長澤が現在行っている、科研費による韓国国立中央図書館における資料調査の方法及び当該図書館の外国人利用方法について、を報告した。
4「東アジアにおける質的保証を伴う大学間交流のあり方—短大にお	単	平成 28 年 1 月 22 日	熊本学園大学	大学のグローバル化が課題となっている昨今、短大として逸早く韓国の大学とダブルディグリー・プログラム協定を結んだ本学の試みについて、そのプログラム

けるダブルデ ィグリー・プロ グラムについ てー」				作成の担当者である長澤から、取組の事例を報告した。
5「1920年代朝鮮教育下の朝鮮映画の主人公たち」	単著	平成 29 年 6 月	慶熙大学国際語文学会(韓国)	1920 年代朝鮮教育下の若者たちの当時の状況を、朝鮮映画から読み解き、植民地下の同化教育の一端を窺う
6「崔洋姫氏の語る父崔載瑞と『国民文学』」	単著	平成 28 年	東アジア日本学会(韓国)全北大学	『国民文学』を刊行し続けた京城帝国大学講師だった崔載瑞の長女崔洋姫を、シドニーの自宅に手インタビューした内容を報告した。
(推薦文) 『文教の朝鮮復刻版』全 80 巻 索引 1 巻	単著	平成 24 年 3 月	ホーク情報サービス株式会社	併合下の朝鮮で刊行され続けてきた『文教の朝鮮』が全 87 巻本として復刻されることとなった。その案内パンフレットに掲載した「推薦文」である。
(報告) 1 日帝期朝鮮教育資料目録—渡辺学・阿部洋編『日本植民地教育政策史料集成(朝鮮編)』(龍溪書舎)未収録資料	単著	平成 24 年 3 月	『佐賀女子短期大学研究紀要』第 42 集	渡辺学・阿部洋編『日本植民地教育政策史料集成(朝鮮編)』(龍溪書舎)に未収録となっている資料目録をデータベース化した。
2「併合下の朝鮮映画作品年表」	単著	平成 25 年 3 月	『佐賀女子短期大学研究紀要』第 43 集	1903 年から 1945 年までの朝鮮で製作された映画作品について、製作会社/製作者/監督/出演/脚本/撮影等を調査し、掲載した。
3「併合下の朝鮮映画史『韓国映画側面秘史』を読む—映画製作秘話の貴重な回想録—」	単著	平成 27 年 3 月	『日本社会文学』第 41 号	朝鮮映画史をめぐる裏面史である安鍾和著『韓国映画側面秘史』がもつ現代の韓国映画研究における重要性について解説。
4「釜山広域市立市民図書館蔵 日帝期和書総目録(1)」	単著	平成 28 年 3 月	『佐賀女子短期大学研究紀要』第 49 集	科研費による調査として、釜山広域市立市民図書館に所蔵される日帝期和書の目録をデータベース化して報告した。
5「釜山広域市立市民図書館蔵 日帝期和書総目録(2)」	単著	平成 29 年 3 月	『佐賀女子短期大学研究紀要』第 50 集第 2 号	科研費による調査として、釜山広域市立市民図書館に所蔵される

6「釜山広域市立市民図書館蔵 日帝期和書総目録(3)」	単著	平成30年3月	『佐賀女子短期大学研究紀要』第51集	日帝期和書の目録をデータベース化して報告した。
7「釜山広域市立市民図書館蔵 日帝期和書総目録(4)」	単著	令和元年3月	『佐賀女子短期大学研究紀要』第52集	科研費による調査として、釜山広域市立市民図書館に所蔵される日帝期和書の目録をデータベース化して報告した。
8「朝鮮近代文芸批評作品リスト(1)」	単著	令和4年3月	『佐賀女子短期大学研究紀要』第56集	1930年代朝鮮近代文学の批評作品を1930.1～1930.9までをデータベース化した。
9「朝鮮近代文芸批評作品リスト(2)」	単著	令和4年8月	『佐賀女子短期大学研究紀要』第57集	1930年代朝鮮近代文学の批評作品を1931.12～1933.1までをデータベース化した。
10「朝鮮近代文芸批評作品リスト(3)」	単著	令和5年3月	『佐賀女子短期大学研究紀要』第57集 第2号	1930年代朝鮮近代文学の批評作品を1933.2～1933.12までをデータベース化した。
(書評)				
1 長澤重代第一歌集『山村烈日』の抒情的世界(1)」	単著	平成27年2月	『YPSILON』31号	当該歌人による歌集の浪漫的内面について批評。
2 長澤重代第一歌集『山村烈日』の抒情的世界(2)」	単著	平成28年1月	『YPSILON』32号	当該歌人による歌集の浪漫的内面について批評。 当該歌人による歌集の浪漫的内面について批評。
(競争的研究資金)				
1. 科学研究費	代表者	平成12年度～平成14年度	日本学術振興会(萌芽的研究)	「朝鮮総督府における「国語」政策」
2 科学研究費	代表者	平成16年度～平成19年度	日本学術振興会(基盤研究(C))	「朝鮮総督府における「国語」政策の基礎的研究—朝鮮総督府編纂発行教科書とその背景—」
3 科学研究費	代表者	平成20年度～平成23年度	日本学術振興会(基盤研究(C))	「朝鮮総督府の「国語」普及政策と教科書編纂について」
4 科学研究費	代表者	平成26年度～平成30年	日本学術振興会(基盤研究(C))	「朝鮮総督府発行教科書・教授書・編纂趣意書に見られる「同化

5 科学研究費	代表者	度 令和3年度 ～令和5年度	日本学術振興会 (基盤研究 (C))	思想」の形成について」 「併合下朝鮮近代文学の〈転向〉 と日本語文学の成立過程」
---------	-----	----------------------	------------------------	--